

## 音楽の花束事業

### 【音楽の花束事業とは】

・アイワ文化福祉財団では、県内出身の音楽家を中心とするチャリティコンサートを主催し、その収益で文化福祉活動を行っている団体の支援を主要事業としていますが、音楽等の芸術を青少年に届ける活動を展開するために、音楽家等との繋がりを活かし、希望する学校や各種社会福祉施設へ音楽等の出張公演を行う事業に取り組むこととし、その事業の名称を「音楽の花束事業」と称しています。

### 【音楽の花束事業第一弾】

・従来から当財団とも関係の深い本県出身の長尾春花さんが、6月下旬に演奏仲間と共にハンガリーから一時帰国するため、「音楽の花束事業」に参加いただくよう事前に相談した結果、「ふるさと静岡県に恩返ししたく、音楽家を志す高校生の指導など行いたい。」とのことから、下記「音楽の花束事業 第一弾」が計画・実施されました。

### (公財) アイワ文化福祉財団 音楽の花束事業 第一弾

令和4年7月1日(金) 13:00 から 16:30

静岡県立清水南高等学校(芸術科特別授業)

訪問者:長尾春花、シゲティ弦楽四重奏団

第1Vn 長尾 春花 (Nagao Haruka) 2008年静岡県文化奨励賞受賞

第2Vn アレクサンドル・ディムチェフスキ (Alexandre Dimcevski)

ビオラ ルドマーニ・デーネシュ (Ludmany Denes)

チェロ ロージャ・リチャード (Rozsa Richard)

#### 詳細 ★演奏鑑賞、公開レッスン★

13:25~13:55 公開レッスン(2年音楽専攻:杉山、友松、若杉)  
「ハイドンピアノ三重奏曲」Hob. 25 より第3楽章

13:55~14:30 演奏聴講(シゲティ弦楽四重奏団)

14:30~14:40 休憩

14:40~15:15 講話・質疑応答  
(大学生活、留学時代や音楽家としての生活など)

#### ★校長懇談★

15:15~15:40 校長懇談

#### ★一般生徒★

15:40~16:30 普通科一般生徒  
\*南陵フィル(管弦楽部)との演奏交流

#### シゲティ弦楽四重奏団 (Szigeti Quartet)

2017年、ハンガリー・ブダペストの主要オーケストラのコンサートマスターと首席奏者で結成。メンバーは、多数のコンクール入賞者であり、また、世界各国の名高い室内楽音楽祭で定期的に演奏している。ベートーヴェン弦楽四重奏曲週間(Beethoven String Quartet Week)で演奏し、スタンディングオベーションを受けた魅惑的なデビューを皮切りに、2018/2019年のシーズンからは、自身のコンサート・シリーズを展開、コンラード・ジョルジ (Konrád György)、グヤーシュ・マールタ(Gulyás Márta)、グスタフ・リヴィニウス(Gustav Rivinius)などのゲストと演奏を重ねる。ハンガリーを中心に、日本、ドイツ、トルコ等から招待され、演奏活動を展開。2021年には、シャーンドル・ヴェーグ弦楽四重奏団プログラムに選抜された。

#### 【公開レッスンを見学した生徒たちの感想】

- ・公開レッスンを見学した生徒たちの多くは、指導対象の楽器とは違う楽器や声楽を専攻しているが、その生徒たちの感想は、「自分の表現の幅を広げるということについて学ぶとともに、自分の演奏する楽器に生かせる方法を学ぶことができた。」とのことであった。
- ・また、次のような感想も寄せられた。「技術よりも表現の幅を広げることに着目した、視野がぐんと広がるレッスンだった。」、「プロと一緒にアンサンブルできたのがとても楽しく吸収するものが多かった。」、「言葉が不自由でも音楽なら国際的交流が可能だし、世界と繋がることができると実感した。」「音が変わる瞬間が各所に見え、音が変わると自然に曲の安定やバランス等のアンサンブルとしての一面が更に良くなって大きな音楽へと変化していくのが耳や目でも分かった。」、「細かいことを考えすぎるより、瞬発的に感じたやり方で演奏することが大切であり、体全体を最大限に使って弾くことで音量・メリハリがついて、迫力が増す。」、「音楽もドラマのようにそれぞれキャラクターがあって、それをどう演奏するのか考えて演奏することが大切。」等々

#### 【財団の感想】

- ・生徒を前に世界の一流プロが実に率直に意見を述べ、公開レッスン曲を直接指導し、予定外の演奏をするなどその指導の情熱ぶりに心が熱くなった。指導される生徒も最初は戸惑いが見えたが、終盤には指導者との和気あいあいとした雰囲気が漂っていた。また、一般生徒がメンバーの南陵フィルとの演奏交流では、それぞれの演奏楽器のパートに入り込み、生徒と合奏、時には演奏見本をしたりしながら、演奏曲の完成度を高めていった。いずれにしても、生徒たちの指導に情熱を傾けたプロ達に改めて感動を覚えた。